



想いを響かせよう！
(伊予中学校 吹奏楽部 6月27日)

いよ

令和5年



議会だより

6月定例会

【特集】新しい議会構成が決まりました！

ズバリ！新正副議長に聞く！

2

【常任委員会報告】若年出産世帯応援補助金

購入できる家電に制限は？

4

一般質問 8人が市政を問う

6

政務活動費を公開します！

15

【きらきら・部活い〜よ⑦】

伊予中学校 吹奏楽部

16

No.73 2023年8月1日 発行

編集／議会広報調査特別委員会

ズバリ！新正副議長に聞く！

新しく就任した
正副議長に抱負などを
聞きました！



もりかわ委員長

環境を整えたい！！

○抱負は？
北橋議長
アフターコロナとなり
日常が戻りつつありますが、落ち込んだ地域産業の復興、少子高齢化や防災・減災対策は喫緊の課題であり、議会が市政に果たす役割は大きくなっています。議会一丸となってこれらの課題解決に取り組む、社会経済活動強化に全力を尽くしてまいります。

特に重要であると考えます。議員が改革に挑戦する環境を整えることにより、議会改革にもつながると考えます。
川口副議長
伊予市初の女性副議長として、各世代・性別を問わず、政治を身近に感じてもらえる議会を目指します。
中立公平な立場で、議長と職員さんと市民の皆さんの「つなぎ役」となるよう努めます。



議長
きたはしとよさく
北橋豊作

■プロフィール
住所：稲荷
趣味：農産物の生育観察（緑は精神安定剤）、スポーツ観戦
座右の銘：積小為大

委員会には、議会を円滑に運営するための**議会運営委員会**や市の仕事を各分野に分けて審査する3つの**常任委員会**があります。今回は、各委員長から任期中（2年間）の活動目標などを聞きました！（議会運営委員会は1年任期）

総務委員会



むかい委員長

ウィズコロナの時代となり、新しい生活様式も定着しました。ICTやAIの進展も顕著で、急激な時代の変化にも適応できる柔軟な発想が必要です。人口減少対策を最優先課題に掲げ、移住・定住促進、伊予市の魅力発信に努めたいと思います。



もりかわ委員

ひの委員

きたはし委員

まさおが副委員長

むかい委員長

議会運営委員会



ひの委員長

定例会の日程、本会議の進行手順、議会に関するルールなど、議会運営全般について協議や意見調整を行います。中立・公平性を重視し、議会をスムーズに運営できるよう、取り組んでまいります。



むかい委員 たけち委員

たなか(弘)委員

かどた委員

おおの副委員長

ひの委員長

さがわ委員

特集 新しい議会構成が決まりました！

議員のスキルアップのための

○どのような議会を？
北橋議長

市民に開かれた議会づくりのため、議会報告会を積極的に開催し、市政や議会と市民との距離を縮めたいと思っています。

川口副議長

- ・ 議員間討議の実現
- ・ 議会報告会の充実
- ・ 災害時の議員行動指針の作成

選挙投票率の向上、これら4つの項目を、優先課題にしたいと考えています。

○市民の皆様にも！
北橋議長

夢を持つことで、毎日充実し、楽しい日々を送ることが出来ます。そして、実現に向けて努力することが大切です。それが「3万人が住み続けられる伊予市」の実現にもつながります。

川口副議長

私の良さは、キョロキョロして、人の声に耳を傾け、分かりやすい言葉で伝えられることだと思っています。ぜひ議会に傍聴に来てください。



副議長
かわぐちかずよ
川口和代

■プロフィール
現住所：米湊
趣味：キョロキョロすること
座右の銘：やらない後悔よりやる後悔

新委員長 から一言！

産業建設委員会



かどた委員長

日本商工会議所の調査結果(早期景気観測)によると、サービス業、小売業、飲食・宿泊業、建設業など、コロナ禍からの経済活動回復が進み、中小企業の業況は改善しているそうです。本市の産業もコロナ禍以前の早期回復を目指し、私たちもできる限りその後押しをしたいと思います！



かなざわ委員

たかた委員

たけち委員

ひらおか副委員長

かどた委員長

さがわ委員

民生文教委員会



たなか(弘)委員長

少子化が加速度的に進んでいます。本市も例外ではありません。子ども手当の拡充、高校生までの医療費無料化等、早期の実現が望まれます。様々な施策案もあがっていますが、まずは子育て世帯が住みやすいと感じてくれるような伊予市を目指して、職員とともに尽力します。



よしひさ委員

おおの委員

かわぐち委員

たなか(真)委員

たなか(弘)委員

たにもと委員

答 地域創生課

コミュニティ助成事業補助金については、5月に開催した広報区長協議会において事業内容を説明し、広報区長を通して広報委員へも周知をお願いしている。がんばる地域応援事業補助金については、市ホームページに掲載し、周知を行っている。

問

過去3年間の実績と採択件数は。

答

地域創生課

コミュニティ助成事業補助金の実績は、令和5年度が大久保広報区、高見公民館、中山地区自主防災会の3団体、令和4年度が大字上三谷区、灘町A地区自主防災会の2団体、令和3年度が上吾川区、上野自主防災会の2団体が採択となっている。がんばる地域応援事業補助金については、本

市では、今回初めて申請した事業であり、いよ本プロジェクト運営委員会の1団体が採択となっている。申請数に対する採択数は、コミュニティ助成事業補助金は、令和5年度が4件中3件、令和4年度が3件中2件、令和3年度が3件中2件が採択であり、がんばる地域応援事業補助金は、応募した1件が採択となっている。



がんばる地域応援事業補助金で今回採択となった「いよ本プロジェクト運営委員会」の活動の様子

トータル収納サービス賦課税目追加業務委託料

問

令和6年4月から地方税共通納税QRコードが、新たに市県民税

などの納付書に付されることに伴う委託料だが、開発費用は市が負担すべきものなのか。

また、導入されることで、収納業務に係る手数料が安くなるなどのメリットは。

答

会計課

もともとトータル収納サービス業務を委託する時点で、システム開発費用は市で負担することとしており、これは本市だけでなく、他市町も全て同様である。

QRコード付き納付書の収納業務に係る手数料は全国銀行協会が決定し、一律である。一番のメリットは納税者が自宅などから納付ができるようになり、利便性が向上することである。

問

今回で3回目の事業だが、詳細は。

答

商工観光課

この事業は、電力・ガス・食品等価格高騰重点支援地方交付金事業の一環で、キャンペーン期間中に市内参加店舗でのキャッシュレス決済に対し、プレミアム還元を行うことで、参加店舗の売上増加、消費支出の下支えを行うものである。

現在、想定している付与率は、1回の上限を20%の10000円還元とし、期間中の上限を一人当たり5000円としており、開始月はまだ決定していないが、秋口の1か月間を想定している。

答

農業振興課

この事業の補助要件は、1点目として、令和4年度にかかる肥料代と令和5年度にかかる肥料代の差額が4000円以上あること。2点目として、平成27年度から令和3年度までの米の販売価格の最高値と最低値を差引いた平均値より、令和4年度の販売価格から、10アール当たり6000円以上の減額が出ていることから、10アール当たり4000円の補助を前年度と同様に行うものである。また、全ての水田、水稲作付農家を対象としておらず、あくまで主食用米の販売農家を対象としており、令和3年度から引き続き、米の販売をしている経営者に対し、その販売実績を付けて申請していただく方法を検討している。

産業建設委員会

キャッシュレス決済プレミアム還元事業

水田農業経営継続支援事業費補助金

問

事業の補助要件と、今後の申請方法は。

一般質問

8人が市政を問う

6月定例会では、8人の議員が27問の一般質問を行い、活発な議論を展開しました。全質問項目は下表をご覧ください。7ページから質問した議員ごとに1～2問の質問を要約してお伝えします。なお、全文記録(議事録)は9月上旬に市ホームページ(<http://www.city.iyo.lg.jp>)の会議録検索システムにて掲載しますのでご覧ください。

伊予市議会



- 田中慎之介 議員(P 7)
- 1 市民の「時間」の負担を軽減するための提案について
 - 2 小学校低学年で使用する算数セットの公費負担を求める
 - 3 伊予市の未来のために、特に若手職員が成長するための取組を

- 大野 鎮司 議員(P 8)
- 1 学校施設等の安全で快適なトイレ整備等について
 - 2 3万人が住み続けられる伊予市へ(防犯編)
 - 3 外国人の対応について

- 川口 和代 議員(P 9)
- 1 町内会(組内)を考える
 - 2 市民の安心・安全を考える
 - 3 令和5年度当初予算から地域振興を考える

- 森川 建司 議員(P 10)
- 1 大谷川及び新池の改修工事の早期実施を
 - 2 市民の防衛意識を高める施策の推進を
 - 3 コロナ禍の教訓を生かした保健行政等の推進を
 - 4 赤い羽根募金に対する疑惑の解明と適正な対応及び市の管轄するNPO法人の健全な運用を

- 金澤 功 議員(P 11)
- 1 災害対策について
 - 2 新川地区への子育て支援について
 - 3 第2期伊予市子ども・子育て支援事業計画について

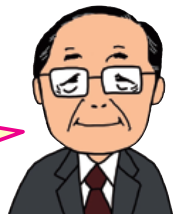
- 平岡 清樹 議員(P 12)
- 1 GW中の栗の里公園を見て思うこと
 - 2 連携協定を結んだ企業や団体と実際の活動は
 - 3 南伊予活性化事業について

- 田中 弘 議員(P 13)
- 1 IYO夢みらい館前広場の計画について
 - 2 有害鳥獣対策について

- 門田 裕一 議員(P 14)
- 1 伊予市に歴史博物館を
 - 2 思春期からの健康づくり(プレコンセプションケア)の普及啓発を
 - 3 「チャットGPT」をどのように活用していくか
 - 4 熱中症対策の推進について
 - 5 大雨による災害に備えて
 - 6 投票支援カードとコミュニケーションボードの活用を

【色付きの質問】
は、次ページ以降に
掲載しています！

9月定例会の日程は
8月初旬頃にホーム
ページで掲載予定です。
広報いよし9月号でも
お知らせします。



きたはし議長

※通告順(発言順)に掲載しています。

小学校低学年で使用する算数セット 公費負担を求める！

田中 慎之介議員



(答弁) 個人負担すべきと考える

問

小学校入学前の名前書きが大変というのは、本市に限らず、全国共通の保護者たちの悩みになっている。特に、算数セットは多くの保護者が夜中までかかって名前を書いている。算数セットはその使用頻度と

比して、名前書きという「時間的負担」と「体力的負担」があまりにも多すぎる。あわせて経済的負担の軽減からも、公費で負担することが望ましいと考える。公費負担としても、全員の分を購入する必要はなく、郡中小学校でも3〜4クラス分の算数セットを学校が備品として備えておけば十分である。

答

「計算カード」に限らず、児童個人が使用していることから、個人負担すべきと考え

る。仮に、共用管理とした場合、保管場所の確保、授業の重複管理・授業前後での過不足確認及び消毒など、継続的な管理が発生し、現場への負担が生じることも予想される。「名前書き」の作業を負担に感じる方もいるが、入学準備として子どもと一緒に楽しんでいく方や、「名前書き」の苦勞を良き思い出として持たれている保護者もいると聞いており、保護者の思いは一樣ではないと理解している。

問

大分県中津市では、若手職員が中心となり、職員自らデジタル技術を活用し、市民サービス向上や業務効率化を果した取組を表彰するプログラムを実施しており、魅力を感じた。「伊予市の人たちのために貢献したい」という想いで入庁してきた職員のチャレンジがみんなで承認される機会を作り、若手職員が成長するための取組をしては。

答

先進事例を参考に調査研究のうえ、適宜見直したい。

現時点では、引き続き各家庭で準備いただくべきものと認識しているが、市町により算数セットの取扱いが異なり、公費負担や一部のみ自己負担としている自治体もあるため、今後、調査・研究したい。

従来からある「職員提案制度」に加え、令和4年度に新設した企画振興部においては、組織横断型の研究チームの立ち上げを進めており、これまでに「魅力発信プロジェクト」「SDGs推進プロジェクト」や「人口減少対策プロジェクト」等を設置し、適宜、市長等と専門知識を有する外部のオブザーバー等に報告・提案を行っている。そうした中から、オフィスカジュアルや集中スペースの導入、年次有給休暇の計画取得等は既に実行もしくは実証実験の段階に入っており、これら若手職員の新たな発想が具現化することで、業務の効率化等とともに、チャレンジ精神の醸成及び満足度の向上が図られているものと考えている。

たなか議員の「もう一言！」

若手職員のチャレンジを市役所だけでなく、市民にも広く知らせてほしいです。職員のそういった姿勢に対して寛容になっていくことで風土ができていく。結果的に伊予市の未来につながっていくと思います。



学校施設等の安全で快適なトイレ整備 温水洗浄機能付き便座の設置を！

大野 鎮司 議員



(答弁) 増設の必要性を検討する



問 国は、令和7年度までに公立学校のトイレの洋式化を95%まで整備するとの目標を掲げている。インクルーシブが進められる学校施設において、多目的トイレの整備は不可欠であり、フェムテック^(※)が推奨される中で、学校施設にも「温水洗浄機能付き便座」の設置が強く求められている。

また、学校は災害時には避難所になるため、多目的トイレの整備は、障がい者や高齢者、子育て中の方にとって非常に大切である。
特に温水洗浄機能付き便座の設置については、避難所での生活が余儀なくされた際、特に女性や高齢者の衛生管理の面で重要であるため、早期の設置を。
^(※)フェムテックとは、女性の健康問題を解決するためのテクノロジのこと。

答 既に洋式化している242台のうち、温水洗浄機能が付いているものは44台で18.2%に留まっている。これは温水洗浄機能付き便座を、これまで多目的トイレなど主に障がい者の利用に絞って整備してきたためであるが、インクルーシブやフェムテックの観点からも、今後、改修の際には学校と協議を重ねながら、温水洗浄便座付きトイレの増設の必要性を検討する。

問 災害時に避難所となる学校施設のトイレ整備には、国の充当率100%で補助率70%の防災減災対策債が活用できるため、早期の改善ができるのでは。

答 現在の交付金が有利であるため今後も活用する。

学校施設環境改善交付金を活用し、令和2年度に策定した学校等施設長

寿命化計画に基づき、洋式化に関する学校からの要望も考慮しながら、改修する予定としている。ご提案の緊急防災・減災対策事業債を活用しての早期実施については、現在活用している学校施設環境改善交付金が僅かながら財政的に有利なこともあり、引き続き交付金を活用していくことでご理解いただきたい。

問 市内小・中学校の洋式トイレの設置状況は。

答 小学校は34.8%、中学校は47.3%である。

小学校全体で396台の個室用便器のうち138台が洋式で、洋式率は34.8%、同じく中学校全体で220台のうち104台が洋式で、47.3%、小中学校全体では616台のうち242台が洋式で39.3%となっている。

問 学校施設だけでなく、高齢化社会の現在、公共施設のトイレを洋式化しては。

答 年間15台程度を目標に洋式化に努める。

新たにトイレを設置する場合には、原則、洋式にて対応している。昨年度において、トイレの新設や改修を行ったことにより、現在は、合計1360台、うち721台、率にして53%が洋式となっている。

今後は、財源状況を見極めながら、年間15台程度を目標に施設の改修等に合わせ、洋式化に努めたい。

おおの議員の「もう一言！」

南中学校の洋式トイレの数を調査したところ、6~8個あるうち、残り2つは家庭用トイレでした。9割以上が洋式トイレに逆にするべきではないでしょうか。早期の実現を望みます！



市の広報紙の配布方法

業者による全戸配布にしては？

川口 和代 議員



(答弁) アンケート調査を予定している



問

高齢化が進み、町内会(組内)を見直す時期がきていると考え

る。役員の担い手不足、委員の掛け持ち、偏る負担で、解散せざるを得なかった組内もあると聞く。市からの依頼業務を見直し、スリム化するために次の提案をした。

- ①各地区とも、広報委員選出に苦労していると聞く。広報紙の配布を業者委託に切り替えては。
- ②電子回覧板を採用している自治体もあると聞くが、本市も回覧板の必要性を考える時期では。
- ③ごみ出しに苦労している高齢者のために、ごみ置き場を廃止し、流し収集や戸別収集エリアを拡大しては。

答

①広報紙のポストイングについては、今年度検討を開始し、県下自治体の状況調査や配送事業者からの聞き取りを進めている。今後、

広報区長や広報委員の方へ広報紙の配布方法や回覧文書に関するアンケート調査を予定している。

- ②先進自治体から情報収集し、調査・研究する。
- ③戸別収集のエリア拡大は、収集委託費用や収集時間の増加は財政的に厳しく、松山市への時間内の運搬も困難である。将来的には、集積所の統合や再編、戸別収集なども検討に加えて調査研究したい。

市民の安心・安全を考える

問

①今年の4月から自転車利用者のヘルメット着用が努力義務化された。ヘルメット購入時の半額補助をすれば、ヘルメット着用の普及啓発につながるのでは。

②2人目以降の幼児用チャイルドシート購入時の半額補助をして経済的負担の軽減を図ること

で、子育て世帯の安心・安全ドライブにつながるのでは。

- ③信号機のない横断歩道に、ライトの点滅でドライバーに歩行者の存在を知らせる「横断者注意喚起灯」を設置して、ドライバーのマナー向上につなげては。
- ④市内の危険交差点を洗い出し、警察とも連携して策を講じては。

答

ヘルメット購入時の補助は、調査研究したい。

①県内3自治体が、自転車用ヘルメットに対しての補助制度を運用または計画していると聞く。

今後、補助額や補助制度などの制度設計について



一見帽子のようなおしゃれな自転車用ヘルメットもある。

かわぐち議員の「もう一言！」

伊予交通安全協会では、2週間のチャイルドシートの貸し出しをしています。周知とあわせて、貸し出し期間を1か月に延ばしてもらえるよう市から要望してほしいと、伝えました。



で、調査研究したい。

- ②利用期間が限定的であることから、リユース促進を検討したい。
- ③「横断者注意喚起灯」の設置は、道路管理者を想定している。県警からは、横断者注意喚起灯の有無で横断歩道を認知する意識が強くなると、他の横断歩道に対する意識が弱くなるのが懸念されるので設置は推奨しないとの回答を得ている。
- ④警察から過去の事故発生箇所の情報提供を受け、地図に見える化し、警察、交通安全協会、道路管理者等と連携し、安全対策を講じていく。

大谷川の改修工事の早期実現を！

森川 建司 議員



(答弁) 県と連携し、早期の対策に取り組む

問

大谷川を守る会を立ち上げて6年になる。この間伊予中学校前の郷口橋付近を中心に、年2回計16回の河川清掃を実施してきた。作業を進める中で、年々石積みの部分の法面が劣化

してきており、このまま放置はできないと判断し、5月中旬、市や県に連絡して現地を確認してもらった。その結果、当面は県が経過観察することとなり、業者が危険箇所10か所に赤ペンキでマーキングを完了した。その後、上流地域にも護岸が崩壊しそうな危険な箇所が2か所見つかった。市長の招集挨拶で、「近年線状降水帯がもたらす水害」と言及したようにこれからの時期、大変心配であるので、市の対応は。

答

現在、県の担当部局が護岸の経過観察中で、今後その結果に

市民の防衛意識を高めるための施策の推進を

問

戦後最悪の安全保障環境の情勢下、

基づき必要な措置を講じるとのこと。方針が決まり次第、地元関係者へ説明する予定だが、当面は、破損箇所之間詰コンクリートの打設などの応急対策を検討しているとのこと。市としても、護岸崩壊による市道や家屋等への被害が生じることのないよう県と連携し、早期の対策に取り組む。

答

市が主体的に働きかけることはしない。

① 国家安全保障戦略は国が果たすべき役割と認識している。本戦略に基づき、市が主体的に市民・企業等に働きかけることは考えていない。関連する取組として、法定受託事務である「自衛官募集業務」では、広報紙への掲載、懸垂幕を設置するなど周知啓発活動を実施している。また、伊予市平和祈念式典等を継

もりかわ議員の「もう一言！」

防衛政策の大きな転換点を迎えています。今日、日本国民として、自分の国は自分で守るという防衛意識を持つことが肝要です。そのためには、国のみに頼るのではなく、地方自治体や企業が積極的に防衛への理解や、協力、支援を深めるよう取り組むことが求められていると思います。ウクライナ国民から学ぶべきは、「中国、ロシア、北朝鮮という独裁・核保有国から領土、主権を守りぬくには、国民の覚悟にかかっている」ということであろうと思います。



続し、平和行政の推進に努める。
② 年齢に合わせた平和教育のほか、小学校低学年では消防・警察及び自衛官等の働きを学習し、中学校では消防署等で職場体験学習を行っている。発達年齢に応じて、社会科学や道徳科、特別活動の中で、地域や国の安全や防衛・国際貢献を含む我が国の役割等について多面的・多角的に学ぶことで、よりよい社会を考え、これからの生活に活かそうとする態度を育てている。

市道宮田東新川線(避難経路)の整備 その後の進捗状況と事業化は？



金澤 功 議員

(答弁) 早期の整備完了を目指したい



問

津波災害など発生時の市指定避難場所である伊予農業高等学校西側にある市道宮田東新川線を避難経路として整備する質問を令和3年9月、令和4年6月、12月と3度にわたり質問し、今回で4回目となる。

前回の答弁では、「避難経路の選択肢が増えることで、一時避難場所への避難時間の短縮が見込まれ、短時間に多くの避難者の受入れが期待できる有効性がある」との回答であった。

津波などの災害における防災・減災対策の一番重要な点は、まずはインフラの整備だと認識しており、また、スピード感を持って進めることが肝要だと考えている。

避難経路となる市道宮田東新川線の整備の進捗状況と事業化する時期は。

答

市道宮田東新川線の整備の進捗状況に

については、現在、市道管理を所管する土木管理課にて、伊予農業高等学校への進入路を兼ねた待避所の設置として、水路への蓋掛けの方向で設計を進めている。図面等の関係資料が整い次第、県教育委員会高校教育課及び広報区等関係機関と協議を進めたい。

また、事業化の時期については、協議の内容によるところもあるため、時期を明示することはできないが、早期の整備完了を目指したい。

令和3年6月議会
で、津波避難ビルの指定について質問し、「緊急避難には有効とされており、発掘に努めた」との答弁があった。

その後、2年が経過したが、市のホームページには、新しい避難ビルの掲載は全くない。現在の津波避難ビルの指定進捗状況と完了予定時期は。

問

引き続き、恒常的に募集を続けていく。

答

下吾川地区の建物について、所有者と協議を進めており、協議が整ったら直ちに周知したい。なお、指定完了時期に関しては、いつまでにというものではなく、恒常的に募集を続けていくものと考えているため、引き続き、市ホームページで募集し、広報紙などでも呼び掛けていきたい。

宇山小児科と併せ開設
当時から協力いただいていた市内の小児科・内科の連携医療機関に対し、引き続き協力を依頼するとともに、松山市の小児科に対し、新たな協力医療機関として支援を依頼し、了承を得るなど事業に悪影響が出ないよう努めてきた。なのはなこども医院に対しては、現状の体制確認をいただき、近々協力医療機関として協力いただけるよう正式に依頼する予定である。

かなざわ議員の「もう一言！」

静岡県は南海トラフ巨大地震の減災対策として、津波避難タワー等の整備や津波避難ビルの指定などを進めた結果、想定死者数を独自試算で約8割減少させたと発表がありました。津波避難ビルの指定だけでも2年以上かかる本市は、はたして「誰一人取り残さず、住民の命を守る」ことができるのでしょうか。



問

平成28年4月から宇山小児科と連携

第2期伊予市子ども子育て支援事業計画

答

事業に悪影響が出ないよう努めてきた。

して、「いよいよすみいる」を開設し、利用者から全国初の送迎付きであるとのこと好評を得ていると聞いている。

その後、令和3年8月に宇山小児科が閉院してからの医療連携の状況と、5月に開業した「なのはなこども医院」との現在の連携等の状況は。

分かりやすい情報の掲載を！

平岡 清樹 議員



(答弁) 早急に見直しを行い修正する



問

今年のGW、栗の里公園に行ってみると、10年前と変わらないう閑散とした景色が広がっていた。10年前にも同様の質問をしたが、公園の活性化に向け、これまで、どのような政策を打ち出し、議論してきたのか。「これほどの施設、敷地がもつたない」の一言である。

市が所有する他の施設も含め、「市有地の貸出しできる情報」として市ホームページや広報紙にも積極的に借り手募集の掲載をしたり、栗の里公園の有料施設金額をもっと分かりやすく掲載したり、利用しやすい環境と受入れ体制を改めて見直してみては。

答

栗の里公園については、公園内の旧遊栗館を令和2年度から、民間企業へ貸し出すなど、部分的な改善を進めており、令和2年度に策定した伊予市過疎地域

持続的発展計画には、栗の里公園の新しい生活様式対応改修として、IT対応型野外保養施設の整備等の計画を明記している。既存の指定管理施設も含め、地域の素晴らし

い素材を生かした、集客力の向上につながる整備を検討する。

市ホームページに施設情報を掲載しているが、公園の貸出が分かる情報にはなっていないため、早急に見直しを行い、利用方法や利用料金が分かりやすい表現に修正する。

問

10年前に多目的広場にオートキャンプ場誘致を提案した際、ヘリポートとして位置付けられているため難しいとの答弁だったが、離着陸の方法や場所など工夫すれば、実現は可能では。

答

関係機関と調整を図りたい。
離着陸の方法や場所に関して、多目的広場の

利用方針がある程度明確になれば、県域防災計画との整合性を確認したうえで、関係機関と調整を図りたい。

ひらおか議員の「もう一言！」

栗の里公園全体のランニングコストが、令和3年度が約795万、令和4年度が約688万とのこと。鹿牧場の飼育環境の改善も含め、栗の里公園の活性化について、今一度検討してほしいです。



南伊予活性化事業

問

事業計画として、南伊予駅前にユニバーサル機能付きのトイレ、展望機能付きの駐輪場、遊具等を備えた広場を整備し、地域住民の憩いの場とし、市外からの来訪者と市民の交流施設とするとあるが、地元住民への周知及び地元住民説明会などの予定は。

また、建設から40年後

までのランニングコストの見込みと、今後、経費の圧縮等の検討はされているのか。

答

整備の全体像が定まっていらないのが現状である。

整備予定地については、現在地権者と交渉中であるため、用地取得の見通しが付いた時点で、周知及び地元住民説明会を開催し、ご要望をお伺いしたいと考えている。

本事業については、整備の全体像が定まっていらないのが現状であり、住民説明会等の要望を踏まえた実施設計を考えている。よって、設置する構造物により、工費やランニングコストは異なるため、現時点での見込額の算出は計上できない。しかしながら、市の財源を活用した整備であるため、総工費、また、ランニングコストが過大とならないよう、構造や設備について検討を進めたい。

IYO 夢みらい館前広場の計画について 正面玄関前の市道変更は？



田中 弘 議員

(答弁) 変更案は取りやめた経緯がある



問 現在、旧伊予郵便局跡地を、IYO 夢みらい館前の「広場」とするための計画が進んでいる。正面玄関前に市道があることにより、入館者・退館者は、車両などが通ることによって安全確認のために立ち止まって横断することになる。このような現象が起こると、利便性・安全性について問題が残り、周辺住民にもご不便、ご迷惑をかけることもあると思う。

答 今回の計画で、市道をなくすなどの変更の検討などはしたのか。

答 市道の変更については、広場北側に変更する案を平成26年度に検討している。その検討の結果、広場北側住民の利便性の低下、広場面積縮小による利用価値の低下、国道378号への市道接続において、勾配や既存交差点から近距離であることによる安全上の問題等において、警察協議の結果も踏まえ困難であると判断し、地元説明会を実施せず、変更案を取りやめた経緯がある。

問 広場の利便性と安全性の確保は。

答 来場者の利便性と安全性は確保できる。

広場の利便性は、広場中央通路に臨時の大型バス乗降スペースを、北側には駐輪場を設置し、来場者の利便性の向上を図る計画である。

広場の安全性は、広場北側の国道378号銀杏通り交差点の改良工事により、IYO夢みらい館前の市道南旭町線への交差点からの車両の進入はなくなり、歩行者のみとなる。これにより、広場北側の住民、ぐんちゅう保育所関係者、宅配業者等の車両が通行するのみであり、安全は確保されるものと思われる。

たなか議員の「もう一言！」

市道変更の再検討について再質問したところ、市長より「市道変更の再検討は、今年9月が最終期限となるため、それまでにもう一度協議を行う」との答弁をいただきました。



有害鳥獣対策

問 有害鳥獣捕獲に対し、猟友会員の取組に差があると感じる。

答 現在、本市では、狩猟期間を除く時期に有害鳥獣捕獲を行っているが、内子町では1年中、有害鳥獣捕獲を行うことができる。本市も通年捕獲を実施しては。

答 今後も継続して調査・研究を行いたい。

通年性を導入するには中予圏域で一体的に取り組む必要があり、昨年10月開催の「まつやま圏域

未来共創ビジョン・有害鳥獣連携捕獲実務者会議」において、圏域市町が歩調を合わせた通年捕獲の可能性について本市から提案し、協議を行った。また、3月に開催した市内猟友会支部長会では、限られた予算を有効に活用した有害鳥獣捕獲を行うための協議を行い、通年捕獲の導入についても意見を伺った。この会やその前後においても通年捕獲に賛同する意見がある一方、狩猟期間が農繁期と重なり捕獲活動に従事できないとの意見や、通年になった場合の捕獲単価の減額は認められないなど、様々な意見が寄せられた。

いずれにしても、市内猟友会各支部との良好な関係を保ちながら、農作物の被害防止を図るための効果的な手法について、今後も調査研究を行いたい。

伊予市に歴史博物館を 施設や廃校を再利用しては？

門田 裕一 議員



(答弁) 現有する施設を有効活用する



問 「伊予市は素晴らしい歴史資料や文化財が豊富なのに、歴史博物館がないのは本当に残念です」

議員となつて、多くの方々からこのような要望を聞きながら、予算の問題や幾重にも立ちはだかる壁があり、これまで断念していた経緯がある。本市にとって歴史博物館は必要である。廃校や使われなくなった施設を再利用したり、中山・双海の地域事務所や各学校施設、そしてIYO夢みらい館などに分散するなど、市の宝物を少しでも展示しては。

答 廃校となった施設は老朽化が進んでいるほか、耐震補強もなされておらず、博物館として使用するためには、多大な費用が必要となる。本市としては、現有する市施設を有効活用し、歴史的資料や文化財を展示するため、現在、

彩浜館における展示実施について、検討を進めているところである。

また、IYO夢みらい館において、これまで年1回程度実施されていた展示についても、今年度より、指定管理者と協議を行い、年5回実施する予定であり、市民の皆さんにご覧いただく機会創出に取り組んでいるところである。

かどた議員の「もう一言！」

市を愛し、時を紡いできた偉人の方々。そして、新しい時代の歴史博物館「伊予市ミュージアム」の建設に向けてスタートを切らなければならぬと思います。今を生きる市民にとって大切な場所であり、つなぎ、伝承の場としなければならぬと思います。



問 市の文化財等をホームページ上にアップロードさせ、市民にもっと親しんでもらうために、バーチャルな博物館、歴史資料館を登場

させる。まず、そのようなことから始めてみては。塩竈市しおがまで取り組んでいるような、伊予市版デジタルアーカイブをホームページ上で展開しては。

答 既にデジタル化されているものから活用する。

デジタルアーカイブ(※)化を行うためには、社会教育課が所蔵している大量の知的財産のデジタル化を行う必要がある。そこで、将来的にホームページ上でのバーチャルな博物館実施を視野に入れつつ、まずは現在、県・市の指定文化財、登録有形文化財の紹介をしている市ホームページへ、データ化が済んでいる民具や古文書などの登録の活用を行い、より一層の充実を図りたい。

(※)劣化や損傷が進む歴史的な文化財、また、伝統芸能や伝統技術などの無形文化財をデジタル映像で記録し、後世に継承すること。

投票支援カードと「コミュニティ」の活用

問 投票所で障がい者や高齢者などを手助けする「投票支援カード」と、イラストや文字を指などで差して、困っていることを伝える「コミュニティ」を導入しては。

答 今回の選挙より導入できるように取り組む。

この取組は全国でも広がっており、県内においては、先の統一地方選挙から、四国中央市、松山市及び今治市が「投票支援カード」と「コミュニティ」を、また、上島町が「コミュニティ」を導入している。本市の投票環境向上に向けた有効な手段として、今後、先進地の事例を参考にしつつ、関係団体などの意見を伺ったうえで、次回の選挙より導入できるように取り組みたい。

政務活動費を公開します!

市ホームページも
ご覧ください!

令和4年度(4年4月～5年3月)における議員の政務活動費の支出内訳を公開します

[令和5年4月現在]

市	交付対象	交付額(年額)
松山市	議員	1,224,000円
今治市	会派/議員	360,000円
四国中央市	議員	240,000円
宇和島市	会派/議員	240,000円
新居浜市	会派	216,000円
西条市	会派/議員	180,000円
東温市	議員	180,000円
八幡浜市	会派/議員	180,000円
西予市	会派/議員	120,000円
伊予市	議員	120,000円

大洲市は、交付なし。

○県内11市の交付額は?

※市ホームページで議員個人の収支報告書と領収書などの関係書類を公開しています。

政務活動費は、主に調査研究費、広報費、資料購入費として使用されています。

政務活動費は、主に調査研究費、広報費、資料購入費として使用されています。

地方自治法並びに市の条例に基づき、議員の調査研究その他の活動に役立つために必要な経費の一部として交付されるもので、本市は、一人当たり年額12万円を交付しています。

○政務活動費とは?

令和4年度 政務活動費収支一覧表

(単位:円)

議席番号	氏名	交付額A	執行額B	差引額A-B	戻入額※	支出科目									
						調査研究費	研修費	広報費	広聴費	要請陳情活動費	会議費	資料作成費	資料購入費	人件費	事務所費
1	田中慎之介	120,000	157,289	△37,289	0	51,841		105,448							
2	金澤 功	120,000	120,635	△635	0	26,131	33,162						61,342		
3	正岡 満	120,000	144,168	△24,168	0	26,131	33,162	46,200				6,190	32,485		
4	森川建司	120,000	123,196	△3,196	0	26,134	33,162	23,100					40,800		
5	吉久俊介	120,000	109,526	10,474	10,474	109,526									
6	川口和代	120,000	167,051	△47,051	0	109,526							57,525		
7	向井哲哉	120,000	120,000	0	0			120,000							
8	平岡清樹	120,000	109,526	10,474	10,474	109,526									
9	大野鎮司	120,000	130,370	△10,370	0	109,526						5,448	15,396		
10	高田浩司	120,000	111,996	8,004	8,004	26,131	33,162					2,189	50,514		
11	門田裕一	120,000	118,732	1,268	1,268	109,526						1,500	7,706		
12	北橋豊作	120,000	121,866	△1,866	0		41,250						80,616		
13	日野猛仁	120,000	73,019	46,981	46,981			68,200					4,819		
14	谷本勝俊	120,000	120,031	△31	0	52,421							67,610		
15	佐川秋夫	120,000	0	120,000	120,000										
16	武智 実	120,000	0	120,000	120,000										
17	田中 弘	120,000	192,853	△72,853	0	26,131	33,162	133,560							
	合計17名	2,040,000			317,201	782,550	207,060	496,508	0	0	0	15,327	418,813	0	0

※交付額よりも支出額の多い議員は、戻入額を0と表記

きらきら・部活 い〜よ 第7回



かなざわ委員

正副部長にインタビューしました！
(6/27取材)

伊予中学校 吹奏楽部



部員32人：男子5人・女子27人／活動日：平日は4日、土・日いずれかの半日
※取材日は4人欠席しております。

★部長・池内さん、副部長・安岡さんに聞きました。

●部活の目標は？

(2人) 吹奏楽コンクールで銀賞以上の賞をとる！

●練習で日々取り組んでいることは？

(池) 基礎練習は絶対！

(安) 曲を練習してみんなでアンサンブルをする！

●部として大事にしていることは？

(池) 自分に厳しく。

(安) みんなの音をしっかりと聴く！

●吹奏楽部に入った理由は？

(池) 卒業生の先輩方が楽しそうにしていたから。

(安) 音楽が好きだから。

●チームのいいところは？

(池) みんな真面目

(安) みんな仲良し

●高校に入ったら何がしたい？

(2人) もちろん吹奏楽部に入りたい！

●議会や議員って知ってる？

(2人) すみません…議会も議員さんも何やってるのか分かりません…。でも武智市長は地元なので知ってます!!

★顧問の平岩先生から一言！

伊予中学校吹奏楽部は「自分に厳しく」「基礎練習を怠らない」「音を楽しむこと」の3本を軸に活動をしています。

コンクールやコンテストなどの演奏会に向けて練習するのはもちろんですが、生徒たちが将来、あのときの合奏良かったな、楽器吹けて楽しかったな、と思うような音楽を奏でる環境を作っていきたいと思っています。

今年は講習会や様々な演奏会に参加しています。今年、自分たちが演奏できるのは、たくさんの方々の支えと応援があるからです。そのことに日々感謝し、これからも練習に励んでいってほしいです。

中学生にとっては、議会や議員は全く未知の世界のようでした。私もこの南伊予地域が地元ですが、議員活動をもっと知ってもらえるような工夫が必要だと感じました。



もりかわ委員長



編集後記

5月の臨時会により新体制が決まり、6月議会より本格始動しました。広報調査特別委員会にも新戦力が加わり、今まで以上に分かりやすく、読みやすい紙面づくりに努めてまいります。今後も楽しみにしてください。

議会広報調査特別委員会 (委員長) 森川建司 (副委員長) 田中慎之介
(委員) 金澤 功 正岡 満 吉久俊介 川口和代



もりかわ委員長